

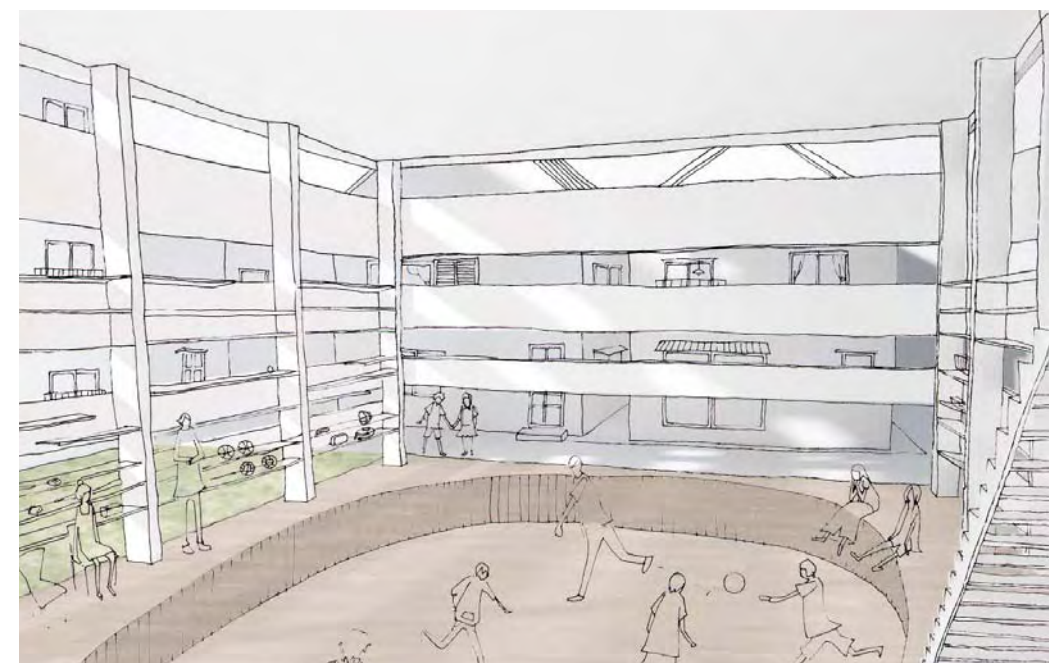
🏠+○○○ まちに広がる家族のネットワーク

家族の在り方が多様化していく中で、かつての家族像と言うものは崩れつつあります。そのような中で、今までのような周辺環境に対して閉ざされ、内部だけで完結していくような住宅を考えたとしても住人のライフスタイルや家族形態を許容することはできません。これからの家族の在り方は、すでに血縁関係を越えたところまで行きます。

今の家族以上に地域の住人と積極的に関わりあう関係を形成できるのなら、それは21世紀における地域の大家族と言えるのではないかと考えました。

そこで、今までのような壁に囲まれ閉ざされ内部だけで完結する住宅ではなく、家に居ない時でももっと周囲と積極的に関わってける公共性のある機能をもった住宅を提案していきます。住宅が住宅だけの機能に留まらないことによって、それは地域住人にとっての拠り所のような存在となります。その住人が居るときも、居ない時も人々が集まる事で従来の家族関係を越えた新たな家族のネットワークが成立します。

それが地域社会のなかで何重にも重なり合い社会全体で大きな家族が生まれることこそが現代、未来における新たな家族の在り方と呼べるのではないかと考えます。



park+house
夫婦2人共働きの家

家に帰っても基本寝るだけの場所。近所の人たちも知らない人ばかり。でも今度はちゃんと近所の人たちと関わりを持ちたい、それを形にしたのは敷地が公園になっている家。ふだん、近所の人々と話す機会がないなら、近所の人が集まる場所を自分の家にして、時には仕事から帰ったらそのままそこでバーベキュー！

first floor plan scale=1/200
second floor plan
section scale=1/200

上部で関わる

library+house
単身者のおばあさんの家

一人暮らしの本好きのおばあさんはこの年になって独り身で持っている資産は大量の本！自分ひとりだけが本を読むとなると、せっかくの本がもったいない。それに一人だと寂しさを感じる。そこでおばあさんは自分の家で図書館を開くことに決めました。

first floor plan scale=1/200
second floor plan
section scale=1/200

下部で繋がる

gymnasium+house
3人の社会人の家

みんな運動は好きだけど普段の生活では中々それを出来る時間がない。それにみんなで集まってするスポーツは特にする時間がない。そんな悩みを持った人たちが、自分の家にあればいいのにと思っ形にしてしまったのが体育館の家。

first floor plan scale=1/200
second floor plan
section scale=1/200

中間で繋がる